

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和6年2月8日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美
レジメン名	APL204寛解導入療法 D群(A群→D群:IDA/Ara-C)		
疾患名	急性前骨髄球性白血病	適応の備考	A群で治療中、APL細胞(芽球+前骨髄球)≥1,000/μLとなった時追加
適応分類	寛解導入療法		ベサノイドはCR後の地固め第1コース開始前日まで連日経口投与、A群から合わせて最長60日まで。
1コース日数	CRまで(最長で60日間)	総コース数	1 コース 催吐性リスク day1-3:中等度、day4-7:軽度
抗がん剤投与量・投与日 イダマイシン12mg/m ² day1-3、シタラビン(キロサイド)100mg/m ² day1-7			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	～	～	60
1	側管	グラニセトン注ハッグ1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●	●	●	●	●	●	●																
	点滴静注																										
2	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●	●	●																
	精密持続静注	シタラビン(キロサイド)注	100 mg / m ²	24 時間	●	●	●	●	●	●	●																
3	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●																				
	点滴静注																										
4	側管	生食100mL	1 本 / body		●	●	●																				
	点滴静注	イダマイシン注	12 mg / m ²	30 分	●	●	●																				
		注射用水100mL	1 本 / body			●	●	●																			
5	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分	●	●	●																				
	点滴静注																										
6	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分								●															
	点滴静注																										
	側管	ベサノイドカプセル10mg	45 mg / m ²		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	経口投与																										
分3 医師の指示通り																											
A群から合わせて最長60日まで																											

【投与上の注意】

シタラビン(キロサイド): 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメロン点眼、1日3回、両眼、シタラビン投与前日から投与終了の翌日まで。